

中国大気汚染改善協力ネットワークの設置

一般財団法人日中経済協会

2013年3月21日

1. 活動趣旨

中国における大気汚染問題を改善するための協力ネットワークは、一般財団法人日中経済協会会員約300社、及び日中省エネルギー・環境ビジネス推進協議会(JC-BASE)会員約400社のネットワークによって、日本において大気汚染を克服してきた知見、経験、技術、設備等の中国への紹介、活用を通じて、問題改善への貢献を目的とするもの。

2. 組織

(1) メンバー

一般財団法人日中経済協会会員約300社、JC-BASE会員約400社をネットワークの対象とする。

(2) 幹事会

①大気汚染対策分野に豊富な知見を有する企業をメンバーとして、また政府・政府関係機関及び地方自治体の協力を得て、幹事会を設置する。

メンバー：トヨタ自動車、電源開発、川崎重工業、東芝、日立製作所、JX等
オブザーバー：

政府機関 経済産業省、環境省、外務省

政府関係機関 独立行政法人国際協力機構(JICA)、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)等

関係自治体

②幹事会は、下記3の活動が円滑に進展するために、随時会合を開き、連絡・調整を行う。

③在日中国大使館と必要に応じて連絡を取る。

(3) 事務局

日中経済協会が事務局を担う。

3. 活動内容

(1) 中国側からの要請に応じて、専門家の派遣、訪日団の受入れ、日中での交流会の開催などを実施。

(2) 日本において大気汚染を克服してきた知見、経験、技術、設備等、ハード、ソフト両面の内容を持つ大気汚染の改善に関する日本の協力可能事項一覧を作成する(この作成には2~3ヶ月を要する)。

